

26億円未返済 大阪市外郭団体

事業譲渡、解散へ

10/19 市長 兼 理事
10/11 市長 兼 理事

大阪市の外郭団体「市医療事業振興協会」が、市から借り入れた介護老人保健施設「おとしより健康センター」(中央区)の建設費26億1800万円を19年間、全く返済していない問題で、市は来年一月にも同

センターを民間法人などに事業譲渡し、協会を解散させる方針を決めた。譲渡額を返済に充てる。関淳一市長は、協会の理事長を兼務していた当時の責任を協会に追及され、2005年の辞職理由の一つとなった。再選後も処理策が示されないままだった。

市によると、センターのベッド数(50床)やサービス水準を維持すると協会の融資。返済条件は15年据え置き、20年償還だったが、赤字運営が続き、関市長が市環境保健局長時代に協会理事長を兼務していた93年、据

あることなどから、市は事業継続が必要と判断。引き継ぎ先の法人としては民間の社会福祉法人などが想定されるが、市によると、既に複数の法人が応募に前向きな姿勢を示しているという。

同協会は赤字が続いているが、市は民間のノウハウを導入すれば一定の収益が見込めるほか、民間の法人が運営に意欲的だ。

が同施設の建設費として88〜91年に融資した26億1800万円の返済見通しが全く立っておらず、協会から強い批判が出ている。【井上直樹】

医事振の老健施設引き継ぎ先公募へ10/20 大阪府方針
大阪市の外郭団体「市医療事業振興協会」(医事振)が運営する老人保健施設「おとしより健康センター」(中央区)について、市は19日の市議

貸付金26億円処分方法

12月中旬めどに公表

10/20 市長 兼 理事
10/11 市長 兼 理事

大阪市の外郭団体「市医療事業振興協会」が、「市おとしより健康センター」(中央区)に充てた市からの貸付金26億1800万円を全額返還して

問題で、関淳一市長が保健局長・助役時代に理事長を兼任して長くかかわっていたことから、二年前の出直し市長選の理由の一つとなり、昨年十一月末に処分方法を決定した。委員会で、対応の遅

れに議員から批判が集中。市は二〇〇五年の市監理団体評価委員会の答申に従い、本年度中に協会を解散するため、来年一月には事業を移す医療法人を公募で決めるとい

え融資期間延長を決めていた。